

# 広島県立県民の森に係る指定管理者の候補者の選定について

自然環境課

広島県立県民の森の指定管理者について、広島県指定管理者選定委員会自然公園部会（以下「自然公園部会」）での審査を踏まえ、指定管理者の候補者を次のとおり選定した。

## 1 指定管理者候補者

候補者	株式会社アグリヒバゴン
代表者	代表取締役 石川 芳秀
住所	庄原市西城町大佐741番地2
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日（予定）
申請提案額	57,555千円（予定）

### 【選定理由】

自然公園部会において、応募者から提出された事業計画書など、提案内容を審査基準に基づき審査を行った。

その結果、「利用者サービスの向上・確保」及び「維持管理水準の妥当性」において、適切な管理運営体制が確保されていることや、「利用促進、新たなイベント提案」において、一年を通じた様々な体験イベント等の利用促進策が優れていると評価された。

## 2 施設の概要

所在地	庄原市西城町油木，同市比和町森脇，三河内
施設の設置目的	すぐれた自然環境にある森林を保護するとともに、その利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び教化に資する。
現指定管理者	—（令和2年7月末で自己破産申立により指定取消）

### 3 応募者

応募者名	所在地	代表者名
株式会社アグリヒバゴン	庄原市西城町大佐741番地2	代表取締役 石川 芳秀

### 4 広島県立県民の森指定管理者選定状況

#### (1) 自然公園部会委員

部会長	秋田 修 (広島県自然環境課長)	
委員	小田眞理子	(小田億株式会社取締役副社長)
	金谷 信子	(公立大学法人広島市立大学国際学部教授)
	西郷 紀子	(西郷紀子社会保険労務士事務所 社会保険労務士)
	花田 譲二	(庄原市企画振興部長)
	福田 和恵	(公認会計士福田事務所 公認会計士)
		※ 委員の順番は50音順

#### (2) 審査基準及び結果等

近年の利用者減少に伴い、施設の利用促進をこれまで以上に図る観点から、『Ⅱ 利用促進, 新たなイベント提案』に重点をおいて審査を行った。

審査基準	審査の項目	配点 ウエイト	応募者 (※応募者名は3 のとおり)	評価及び選定理由
I 利用者サービスの向上・確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開館日, 利用時間などは, 利用者のニーズに的確に応えたものか</li> <li>・施設及び付属設備の利用について円滑に管理運営される見込みか</li> <li>・利用者等からの要望や苦情等への的確な対応ができるか</li> <li>・利用者の安全対策が取られているか (緊急時の避難体制等を含む)</li> <li>・個人情報の取扱いが適切に行える見込みか</li> </ul>	15	10.7	○施設運営のノウハウを持った職員の確保や施設総合管理責任者の配置によりきめ細やかな管理運営を行うとともに, アンケート等により利用者ニーズの把握に努めて施設利用やイベント企画に対応する点などが評価された。

<p>II 利用促進, 新たなイベント提案</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用状況等の目標設定は適切かつ現実的か</li> <li>・利用促進策, 利用者増への取組がなされているか</li> <li>・広報活動等に係る内容(計画)は適切か</li> <li>・施設の効用発揮のための魅力的な提案がなされているか</li> <li>・県施策への協力等に係る考え方はどうか</li> <li>・特定の者等に有利な利用とならないか</li> <li>・施設を利用した環境学習, 野外活動の提案がなされているか</li> </ul>	<p>20</p>	<p>14.7</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一年を通じた様々な自然体験等のイベント企画や, スキーだけでなく雪遊びをテーマとしたスキー場の利用促進策やスキー場のオフシーズンの活用など, 利用者増に向けた魅力的な提案が評価された。</li> <li>○企画したイベント等の広報活動について, HPに加えて, 発信力のあるSNSのインフルエンサーの活用や地元関係団体と連携する取組が評価された。</li> </ul>
<p>III 維持管理水準の妥当性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の修繕や設備交換に関する取組がなされているか</li> <li>・警備・清掃等は仕様書基準を満たしているか</li> <li>・設備・機器等の保守点検は仕様書基準を満たしているか</li> </ul>	<p>15</p>	<p>10.8</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○仕様書基準を満たしており, グループ会社と協力することにより, 施設の修繕・維持管理を適切かつ速やかに対応できる点が評価された。</li> </ul>
<p>IV 申請者の経営状況・信頼性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の執行体制(安全管理・労災)が安定し, 配置数は適正か</li> <li>・障害者の雇用の促進等に関する法律に基づく法定雇用率の達成</li> <li>・責任者常駐の有無等, 責任体制は確保されているか</li> <li>・有資格者, 経験者の配置状況は適切か</li> <li>・業務や安全管理等に対する職員研修等の充実度はどうか</li> <li>・再委託を行う場合の内容及び委託先は適切か</li> <li>・不測の事態への対応(保険等)はどうか</li> <li>・財務状況は健全か</li> </ul>	<p>15</p>	<p>9.2</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地元金融機関との包括連携協定の締結により, 適切な経営指導を受けるとともに, 不測の事態に備えて資金調達面で円滑な対応が可能な体制が整備されていることが評価された。</li> <li>○施設の総合管理責任者の配置や, 有資格者や経験者の確保など, 安定した執行体制が評価された。</li> </ul>

V 申請者の取組姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の目的・公共性の理解度はどうか</li> <li>・地域や関係団体等との連携体制が取れるか</li> <li>・事業計画やプレゼンにおける申請者の取組姿勢はどうか</li> </ul>	15	12.5	<p>○地域経済の発展に寄与することを経営理念に掲げ、地元雇用や地産地消の推進、地元観光ボランティアの活用、地元関係団体との連携などを通じた地域貢献の提案が評価された。</p> <p>○4月からの円滑な施設再開に向けて、県と随時連携して計画的に準備を進める取組姿勢が評価された。</p>
VI 申請提案額（金額評価）	<p>最低提案額/申請提案額×10  （※ 小数点第1位まで求める。  小数第2位切捨て）  （指定管理期間の全体額（5年間分を合算））  なお、申請者の提案額が、管理費用基準額を上回る場合は失格</p>	10	10.0	○提案額は、県の示した管理費用基準額と同額であった。
VII 申請提案額の実現性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請提案額と事業計画は整合しているか</li> <li>・経費の効率化の方策の内容はどうか</li> <li>・収益増への取組内容はどうか</li> </ul>	10	6.5	○事業計画に整合した収支計画や経費節減・収益増に向けた取組姿勢が評価された。
合 計 点 数		100	74.3	

※本結果は、6名の委員の平均点によるものである。